

防災行政無線などで質問・要望相次ぐ 板倉、浦川原などで議会報告会

決算議会を終えた上越市議会は、9日から市内4会場で議会報告会・意見交換会をスタートさせました。

いずれの会場でも議長または副議長がこの間の議会改革の取組、9月議会の概要を報告、各常任委員会の正副委員長のどちらかが委員会審査の報告をし、質問を受けました。

私は板倉区と浦川原区の会場で総務常任委員会を代表して報告や質疑応答を担当しました。以下は両会場で市民の皆さんから出された主な質問・要望です。

【板倉会場】

- 新幹線とトキ鉄の接続、もっと改善するように働きかけてほしい。
- 総合事務所の時間外受付の方針についてどう考えるか。議会は聞いていない(説明を受けていない)のか。
- 関係人口や複業について質問された方がいたと思うが、実現したのか。
- 総務常任委員会との懇談会が先日、行



われたが、その結果がまだフィードバックされていない。これでいいのか。
板倉会場で賑やかになったのは、総合事務所の時間外受付の方針と防災行政無線放送の変更についてです。疑問の声が強くなりました。

【浦川原会場】

- 道路の亀裂が目立つ。道路は市民生活の基本(にかかわるもの)であり、速やかに直してもらいたい。
- 外孫が夏休みに放課後児童クラブに通っていたが、もうあんなところへ行きたくないと言っていた。プレハブではなく、もう少し環境のいいところでやってほしい。
- 農業問題をとりあげる議員が少ないのではないか。今年は1等米が少なかった。中山間地は耕作放棄地が増えている。有害鳥獣でピンチだ。もっと積極的に取り組んで……。
- 議会が行政の追認機関のように思えてしょうがない。行政が簡単に答えられる質問が多い、と感じている。

今回出された意見や要望については、市議会の課題調整会議で整理し、具体的にどうするか、決めていきます。

上越には観光のいい素材がいっぱいある

「観光客のニーズと、これからの上越市の観光」の方向性を探ろうと、13日、市議会文教経済常任委員会と観光ガイド、「おもてなし武将隊」のみなさんで意見交換会が行われました。

以下はそこで出た発言の一部です。

●観光のいい素材がいっぱいある。でも、地元の人たちから、なかなかわかってもらえないところがある。●ガイドが終わって、午前11時ご

ろ、『ここでだけの物を食べられるところはないか』とお客さんに訊かれるのが切ない。●上杉謙信のPRの拠点を造って案内できる場所が欲しい。●観光PRの戦略的なものをつくらせていただけないか。●ガイドをやる中で得たものはみんなで共有できるようにしている。●繁忙期、駐車場が少ない。●城に向かう道がいまいちわかりにくい。わかりやすい案内看板をというご意見をいただいている。●春日山駅にコインロッカーを、という

声もある……。

田中委員長が、「これだけで一般質問が何回もできる」とのべていたように、観光の最前線にいる人たちのこうした生の声は重要です。今回、出された声は整理し、市行政にきちんと反映させなければなりません。



【オオイヌノフグリ】再掲。オオバコ科の越年草。春一番の「春を告げる花」の一つですが、すでに咲いているところがあります。写真は柿崎区行法にて12日、撮影しました。びっくりしました。コバルトブルーの小さな花、とてもかわいいです。



はしづめ法一の活動レポート

No.1934 2019.11.17

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五八二回

手をギュー

今週の火曜日、一年に一回の母のMRI検査が無事終了しました。検査の結果、母の頭の中にある動脈瘤の大きさは昨年と変わらず、ホッとしました。

上越病院での検査が終わって、会計での支払いが済めば、そのまま、まっすぐ家に帰ることが出来ます。今回は薬局から薬を出してもらった必要はなかったからです。

この日は午後から視察があり、できれば早く家に帰りたいたいと思っていました。ただ、一つ気がかりなことがありました。母の大好きな買い物をごろごろするからです。

正直言って、病院を出たところで迷いました。「どうするね」と母に聞くと、母は少し考えて「どうでもいい」と言いました。「ああ、良かった。これなら、すぐに家に帰れる」、私はそう思って車のハンドルを右に切ろうとした次の瞬間、母はぼつりと言いました。「ナメコ」、買っていいかな」と。

こういう言葉が出れば、「またにしときない」とは言えません。ハンドルをすぐ左に切り変えて、JAの「あるるん畑」に向かいました。

売り場入り口に一番近い駐車場に車を止め、母の手を引きながら、店内を歩きました。目標は「ナメコ」を買うことなんです。言うまでもなく、それだけで済むはずがありません。これまでと同じように、「あれもこれも」になることは目に見えています。ただ、母が欲しいと言ったものは、できるだけ買ってあげようと思っていました。

歩き始めてすぐに、キャベツの山がありました。「キャベツ、買おうかな」と言うので「いいよ」と答えました。サツマイモのところでも、じろじろ見て、母が手をのばしました。「紅はるか」です。母は細めのものが欲しかったようです。これも買

物かごに入れました。

続いて母はシヨウガに手をのばしました。シヨウガは先日、ある農家の人がりっぱなものをくださったばかりです。私は「シヨウガは家にあるねかね」と言っていて、母がいったん手にしたニンジンも買うのをやめてもらいました。

この二つを購入対象外にしたことが作用したのでしようか、その後、母の行動が微妙に変わったように見えました。

エノキがいっぱい並んでいるところへ行ったときのことです。母は、「これ、ほしい」という声を出す前に、私の手をギューと握ったのです。私には、母の足もふんばっているように思えました。実際は、足が滑らないようにしただけなのかも知れません。でも、私には「おれは、これほしいがだ」という母の意思表示に思えました。ナメコが見当たらないこともあって、エノキはすぐに一袋購入しました。

少し歩いて、長ネギと打ち豆のところでも母は、私の手を引っ張るようになって止まりました。このうち、打ち豆は食べたいというよりも、その昔、自分で作っていたこともあって懐かしかったのでしょう。本当にしているのかどうかあやしいと思いましたが、金額は一九八円です。すんなりと認め、打ち豆は私の方で取って、買い物かごに入れました。

こうして、この日、「あるるん畑」で購入したものは昼食用のお寿司を含めて九品目、合計で千六百八円となりました。これで母の買い物願望が満たされ、気分良くしてもらえたら安いものです。

「あるるん畑」は、母が行くことのできる数少ない買い物場です。「とちゃ、ちよっと寄っていいよ」という母の誘いがあるときは必ずこたえたいと思います。

作者や家族と触れ合いながら鑑賞できる作品展

高田で10月27日、もちより・まちなかアート展を観てきました。

この作品展は、作者や家族と触れ合いながら作品鑑賞ができるのが特徴の一つです。何人かの作者が会場で作品づくりをしていて、質問をすれば、作者や家族の人が解説してくれるのです。

匠さんの魚を描いた作品、数百種の大小様々な魚たちが洗濯機の水槽の中でぐるぐる回る衣類のように描かれていました。「目が廻りそうです」と話をしたら、彼のお母さんがいろいろ説明してくださいました。

最近パソコンを使って作品づくりもしているとのことでした。

西須奈津子さんの木コを描いた数点の絵、いずれも写真を基にして描いています。「写真を見て描く」というのは、そのまま描かなくてもいいんですね。画像にない所を描き足すのもよし、まわりの風景を入れるのもオーケー。これは参考になりました。

今回の作品展に誘ってくれた坂井亮円さんのさをり織は珍しく緑と茶色系でした。赤やピンク系とは違った趣きがありました。

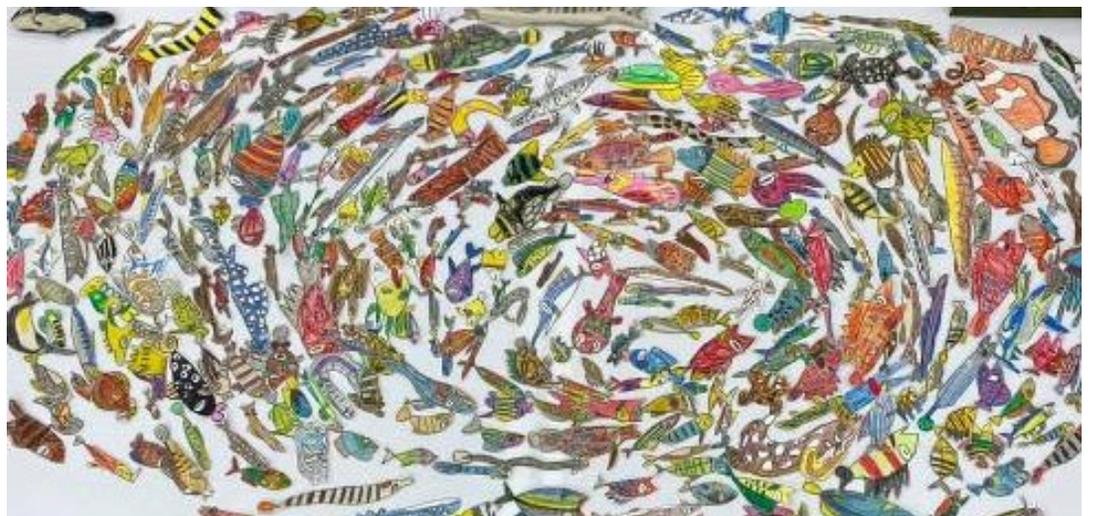
ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月6日(水)	11月13日(水)
上越南消防署	0.043	0.043
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.053	0.043
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.053	0.047
名立分遣所	0.050	0.047



春よ来い

第五八二回

手をギュー

今週の火曜日、一年に一回の母のMRI検査が無事終了しました。検査の結果、母の頭の中にある動脈瘤の大きさは昨年と変わらず、ホッとしました。

上越病院での検査が終わって、会計での支払いが済めば、そのまま、まっすぐ家に帰ることが出来ます。今回は薬局から薬を出してもらった必要はなかったからです。

この日は午後から視察があり、できれば早く家に帰りたと思っています。ただ、一つ気がかりなことがあります。母の大好きな買い物をごろろするからです。

正直言って、病院を出たところで迷いました。「どうするね」と母に聞くと、母は少し考えて「どうでもいい」と言いました。「ああ、良かった。これなら、すぐ家に帰れる」、私はそう思って車のハンドルを右に切ろうとした次の瞬間、母はぼつりと言いました。「ナメ」、買っていいかな」と。

こういう言葉が出れば、「またにしときない」とは言えません。ハンドルをすぐ左に切りかえて、JAの「あるるん畑」に向かいました。

売り場入り口に一番近い駐車場に車を止め、母の手を引きながら、店内を歩きました。目標は「ナメコ」を買うことなんです。言っまでもなく、それだけで済むはずがありません。これまでと同じように、「あれもこれも」になることは目に見えています。ただ、母が欲しいと言ったものは、できるだけ買ってあげようと思っています。

歩き始めてすぐに、キャベツの山がありました。「キャベツ、買おうかな」と言うので「いいよ」と答えました。サツマイモのところでも、じろじろ見て、母が手をのばしました。「紅はるか」です。母は細めのものが欲しかったようです。これも買

物かごに入れました。

続いて母はシヨウガに手をのばしました。シヨウガは先日、ある農家の人がりっぱなものをくださったばかりです。私は「シヨウガは家にあるねかね」と言っていて、母がいったん手にしたニンジンも買うのをやめてもらいました。

この二つを購入対象外にしたことが作用したのでしようか、その後、母の行動が微妙に変わったように見えました。

エノキがいっぱい並んでいるところへ行ったときのことです。母は、「これ、ほしい」という声を出す前に、私の手をギューと握ったのです。私には、母の足もふんばっているように思えました。実際は、足が滑らないようにしただけなのかも知れません。でも、私には「おれは、これほしいがだ」という母の意思表示に思えました。ナメコが見当たらないこともあって、エノキはすぐに一袋購入しました。

少し歩いて、長ネギと打ち豆のところでも母は、私の手を引っ張るようになって止まりました。このうち、打ち豆は食べたいというよりも、その昔、自分で作っていたこともあって懐かしかったのでしょう。本当にしているのかどうかあやしいと思いましたが、金額は一九八円です。すんなりと認め、打ち豆は私の方で取って、買い物かごに入れました。

こうして、この日、「あるるん畑」で購入したものは昼食用のお寿司を含めて九品目、合計で千六百八円となりました。これで母の買い物願望が満たされ、気分良くしてもらえたらいいものです。

「あるるん畑」は、母が行くことのできる数少ない買い物場です。「とちゃ、ちよっと寄っていいよ」という母の誘いがあるときは必ずこたえたいと思います。

「吉川町の歩み」ビデオ上映

27回目の東京吉川会総会は9日、四ツ谷で開催されました。

常山正樹新会長が挨拶と活動報告を行い、土橋副市長などの来賓も挨拶しました。

参加者が注目したのは、総会最後に上映された「吉川町の歩み」のビデオです。明治期から平成の大合併に至るまでの歩みをコンパクトに紹介していますが、当時の町民が多数登場しています。私の



父や叔父の姿も確認しました。

ビデオは旧吉川町の歴史と特徴を振り返ることが出来ます。大勢の人に観てほしいですね。

上越市議会史上初の模擬議会にむけ事前学習

今日22日、上越市議会史上初めて中学生による模擬議会が行われます。担当する議会改革推進会議のメンバーが11日、吉川中学校へ出向き、事前学習を行いました。

事前学習では、滝沢座長が議員役や議長役などをやる生徒のみなさんに議会の役割や一般質問について説明。その後、生徒のみなさんは8つのグループに分かれて、質問テーマや中身についてどうするか話し合いました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月6日(水)	11月13日(水)
上越南消防署	0.043	0.043
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.053	0.043
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.053	0.047
名立分遣所	0.050	0.047

春よ来い

第五八二回

手をギュー

今週の火曜日、一年に一回の母のMRI検査が無事終了しました。検査の結果、母の頭の中にある動脈瘤の大きさは昨年と変わらず、ホッとしました。

上越病院での検査が終わって、会計での支払いが済めば、そのまま、まっすぐ家に帰ることが出来ます。今回は薬局から薬を出してもらった必要はなかったからです。

この日は午後から視察があり、できれば早く家に帰りたと思っています。ただ、一つ気がかりなことがあります。母の大好きな買い物をご一緒するからです。

正直言って、病院を出たところで迷いました。「どうするね」と母に聞くと、母は少し考えて「どうでもいい」と言いました。「ああ、良かった。これなら、すぐ家に帰れる」、私はそう思って車のハンドルを右に切ろうとした次の瞬間、母はぼつりと言いました。「ナメコ」、買っていいかな」と。

こういう言葉が出れば、「またにしときない」とは言えません。ハンドルをすぐ左に切りかえて、JAの「あるるん畑」に向かいました。

売り場入り口に一番近い駐車場に車を止め、母の手を引きながら、店内を歩きました。目標は「ナメコ」を買うことなんです。言っまでもなく、それだけで済むはずがありません。これまでと同じように、「あれもこれも」になることは目に見えています。ただ、母が欲しいと言ったものは、できるだけ買ってあげようと思っています。

歩き始めてすぐに、キャベツの山がありました。「キャベツ、買おうかな」と言うので「いいよ」と答えました。サツマイモのところでも、じろじろ見て、母が手をのばしました。「紅はるか」です。母は細めのものが欲しかったようです。これも買

物かごに入れました。

続いて母はシヨウガに手をのばしました。シヨウガは先日、ある農家の人がりっぱなものをくださったばかりです。私は「シヨウガは家にあるねかね」と言っていて、母がいったん手にしたニンジンも買うのをやめてもらいました。

この二つを購入対象外にしたことが作用したのでしようか、その後、母の行動が微妙に変わったように見えました。

エノキがいっぱい並んでいるところへ行ったときのことです。母は、「これ、ほしい」という声を出す前に、私の手をギューと握ったのです。私には、母の足もふんばっているように思えました。実際は、足が滑らないようにしただけなのかも知れません。でも、私には「おれは、これほしいがだ」という母の意思表示に思えました。ナメコが見当たらないこともあって、エノキはすぐに一袋購入しました。

少し歩いて、長ネギと打ち豆のところでも母は、私の手を引っ張るようになって止まりました。このうち、打ち豆は食べたいというよりも、その昔、自分で作っていたこともあって懐かしかったのでしょう。本当にしているのかどうかあやしいと思いましたが、金額は一九八円です。すんなりと認め、打ち豆は私の方で取って、買い物かごに入れました。

こうして、この日、「あるるん畑」で購入したものは昼食用のお寿司を含めて九品目、合計で千六百八円となりました。これで母の買い物願望が満たされ、気分良くしてもらえたら安いものです。

「あるるん畑」は、母が行くことのできる数少ない買い物場です。「とちゃ、ちよっと寄っていきな」という母の誘いがあるときは必ずこたえたいと思います。

今年も桃園で「小さな作品展」

柿崎区桃園町内会の「小さな作品展」を観てきました。絵や押し花など手づくりの作品がずらりと展示されていました。町内会でこういうイベントをしているところは、市内ではあまりありません。

関係者の話では「ほっとタイム」という日頃のサークル活動がこうした作品展につながったと言います。紙で作った人形、立体感



のあるパッチワークなど「これは」と思う作品がいっぱいありました。素敵な作品展です。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月6日(水)	11月13日(水)
上越南消防署	0.043	0.043
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.053	0.043
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.053	0.047
名立分遣所	0.050	0.047

市議会農議連が柿崎ブーシェリーを視察



市議会食料農業農村議員連盟のメンバー16人は12日、柿崎区行法にて2年前からイノシシなどの加工・販売に取り組んでいる柿崎

ブーシェリーを訪問し、森本代表などからこれまでの取組や今後の課題についてお聴きしました。

処理施設は平屋建て、年間約60頭のイノシシを処理することができます。この種の施設としては小規模であるものの、「熟成させることや何を食べていたか、性別、年齢などのデータを付けることで、料理人のニーズに合わせた柔軟な対応をすることができる」ということでした。大事な取組ですので、ぜひ頑張ってもらいたいですね。